

令和5年度 第1回トライアングルプロジェクト連絡会 会議録

地域支援部

1 実施日・場所 令和5年 6月21日(水) 10:30~11:35 会議室

2 参加者 放課後デイサービス事業所・担当者
田中副校長 田中地域支援部主幹 コーディネーター 地域支援部担当

3 内容

(1) 副校長あいさつ(田中副校長)

- ・日頃より本校の教育活動にご協力くださり感謝している。
家庭・学校・放課後等デイサービスの3者が情報を共有して子供たちの支援をしていきましょう。
本日はよろしく願いいたします。

(2) 学校より(田中主幹)

○トライアングルプロジェクト連絡会について

放課後等デイサービスと学校と家庭の三者が連携するために、ひざをつきあわせてざっくばらんに話し合い、情報を共有したり、課題を明確にしたりできれば、という趣旨でできたもの。毎年2回実施している。保護者との連携については、この会議で話し合ったことを還元できるようにすることで「トライアングル」となるよう考えている。

○送迎のルールについて

- ・名札の着用をお願いします。
- ・子供同士3人で手をつないで歩くことは危険なので避けてください。
- ・どこの事業所かわかるように、できればA4くらいのサイズにプレートを下げたり、掲げたりしてもらえると助かります。
- ・出入りしやすいように玄関前は開けておいてください。職員玄関は大丈夫です。

(3) 情報交換

事前アンケートに加え、当日出していただいた課題について情報交換が交わされました。(2ページ目以降参照)

○性に対して学校側の教育

- ・放課後等デイサービスでトイレへの閉じこもりや女性職員へのボディタッチがある。

→性教育＝生教育 と捉えて指導している。

性教育の内容には「生命尊重」「生命的側面」「心理的側面」「社会的側面」がある。

①「生命尊重」

- ・人間は他の生物と違って、単に生命を維持し種族を残すというだけでなく、人間としてどう生きるかという生命の尊さが問われること。
- ・人間は生まれながらに多様であり、全ての人間が人間として尊重されなければならないこと。
等

授業－生命の尊さ、生きることのすばらしさを知り。生命を大切にすること

②「生物的側面」

- ・よりよく発育するための運動、食事、休養、睡眠の仕方について知る

授業－入浴の方法。バランスのよい食事

③「心理的側面」

- ・身体的、精神的な発達によって不安や悩みが生じること。それに対して気持ちの安定を図ること

授業－心と体をリラックスさせる方法を知る。自分の長所や個性を見つける

④「社会的側面」

- ・人間関係のマナーやエチケットとして時と場、年齢に応じて相手や周囲の人に不安感や不快感を与えない行動が必要であること。
男女が人間として平等の立場で、互いの人格を尊重し合って生きていくことが大切であること

授業－身だしなみを整える。エチケットやマナー。自分や他社がかけがえのな存在であることを発見

高等部 - 日常生活の指導においてエチケットやマナーを指導している。

異性間の交流については個別に指導を行っている。

実態を踏まえ、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に則して指導方法、指導内容や表現が適切な教材を使用する。

○送迎車の駐車場について

- ・以前から近隣パーキングを利用していますが、年間で考えると金額が大きく悩ましいです。他の事業所さんはどのようなお考えなのかをお聞きしたいです。
→・駐車場に停めないで迎えに来られないのでそこは仕方ないと考えている。
・利用する日にちを年間で計算して、コインパーキングを利用している。
など他の事業所の方からの情報がありました。

○落ち着かない児童の対応方法について

- ・車の窓や施設の壁を叩いてしまう。下校時は時間がなく、話す時間がない。担任とどんな対応をしたほうがよいか情報共有できるとよい。
→・落ち着かない児童と言っても、障害や発達段階等一人一人違うので、それぞれ対応の仕方が違う。お気軽に担任とお話いただきたい。
・引き渡し時に時間がなければ、コーディネーターに電話をいただければ担任に内容を伝えることもできる。

- 保護者と事業所の方からの希望があれば担任が見学に行くこともできるので相談してほしい。
- 落ち着かない時の対応について
好きな歌を流したり、隣に座り手遊びを行ったりして気持ちをそらす。
複数箇所お迎えがある場合は、ルートを工夫し、時間が長くないようにする。などの工夫のアイデアが出されました。

○学校見学について

- 次回、見学の時、可能であればもう少し長めにクラスの様子を見学したいです。
- 事業所から参加できる人数を増やしてほしい。
- 学校見学の再開について
 - • 先日「学校公開」を実施した。学校内の見学を再開しており、教室に入っただけの見学も行った。
 - 11月の第2回トライアングルプロジェクトでは、授業見学も予定している。学校行事での人数制限もなくす方向。
 - 高等部の作業や休み時間の過ごし方を見てみたいという意見も出ました。

○災害時の対応について

- BCP（事業継続計画）の公開をしていただけたらと思います
 - • 災害時の対応について、校内でも様々な場面を想定して検討をすすめているところです。

○学校へのお迎えについて

- 基本的に送迎を行っていますが、運動会や遠足など学校行事の際のデイサービスへの引き渡しが可能か、月間の下校時刻表の一番下にでもいいので、記載していただけると嬉しいです。
 - • 有事の際（引き渡し訓練を含む）以外は、デイサービスの方への引き渡しができます。

○学校との連携について

- 学校の IEP と施設の ISP の連携
 - • 「IEP」と、現在特別支援学校で作成している「個別の教育支援計画」は別のもの。本人と保護者と学校で作成する。保護者に配布してあるので、保護者を通じてお互いにやり取りをしていただければと考えている。
 - 学校からも活用してもらえよう家庭に働きかけていく。
 - 学校から直接もらうことはできるか？
 - 学校から直接提供することはできないので、保護者に伝えてください。
- 複数の事業所を利用している児童生徒について、事業所間で情報共有できるとよい。
 - • 個別支援シートを活用してもらえるといいのではないかな。
 - また必要に応じて支援会議を行い、支援の方法を共有することもできる。
- 家庭での様子、学校での様子を共有できるとよい。
 - • 下校時の情報交換が主になるが、個別支援シートも活用していけるとよい。

○水遊びを行う際の内容の工夫などあれば

→・福祉センターのプールを団体予約で利用したり、浅めの水遊びができる公園などに出向いたりしている事業所さんもありましたが、敷地内でビニールプールを使っている事業所さんが多かったようです。

熱中症予防のためのタープの使用、水分補給し、目隠しをできるようにどの事業所さんも気を使っているとのことでした。年長の児童生徒については水着でなくTシャツ短パンで活動できるようにするなどの意見もありました。

マンツーマンに近い体制、監視員を置く、トランシーバーの利用、ルールの提示など毎年改めて安全に行えるよう実施方法について見直しをされていることが窺えました。

○傷を掻き壊してしまうのをやめさせたいがいい方法はないか。プールが入れなくなってしまう。

→・保護者に了解をとって、絆創膏を貼る。触れないように上から包帯を巻く。長袖長ズボンを着る。などの対処方法が出されました。

またひどくならないように刺されたあと、すぐに石鹸でよく洗うことでかゆみを軽減することができるということでした。